

整理番号:M180905

作成日 2018/06/29  
改訂日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	モノタロウ シャーシーブラック(油性)
製品コード	32602114,32602123
供給者の会社名称	株式会社MonotaRO
住所	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当部門	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ

### 2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性 健康有害性	エアゾール 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分2 水生環境有害性(長期間) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール H229 高压容器: 熱すると破裂のおそれ H336 眠気又はめまいのおそれ H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き	
安全対策	熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210) 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211) 使用後を含め、穴をあけたり燃したりしないこと。(P251) 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261) 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271) 環境への放出を避けること。(P273)
応急措置	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312) 漏出物は回収すること。(P391)
保管	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233) 施錠して保管すること。(P405) 日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ミネラルスピリット	80.000%	不明	不明	不明	64742-47-8
プロパン	4.000%	CH <sub>3</sub> CH <sub>2</sub> C H <sub>3</sub>	(2)-3	既存	74-98-6
ブタン	16.000%	CH <sub>3</sub> CH <sub>2</sub> C H <sub>2</sub> CH <sub>3</sub>	(2)-4	既存	106-97-8

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

・新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師を呼ぶこと。汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

吐かせないこと。口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、散水、噴霧水、一般の泡消火剤。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

回収、中和:

・少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。

技術的対策:

作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。

局所排気、全体換気:

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。接触、吸入又は飲み込まないこと。空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用す

注意事項:

保管 技術的対策:	ること。環境への放出を避けること。 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
保管条件:	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。酸化剤から離して保管する。容器は直射日光や火気を避けること。容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。施錠して保管すること。
混触禁止物質:	「10. 安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置  
許容濃度(暴露限界値,  
生物学的暴露指標):  
・保護具  
呼吸器の保護具:  
手の保護具:  
眼の保護具:  
皮膚及び身体の保護具:

適切な呼吸器保護具を着用すること。  
適切な手袋を着用すること。  
適切な眼の保護具を着用すること。  
衣類、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質  
外観

物理的状態  
形状  
色

エアゾール  
液体  
データなし  
特徴的な臭気  
データなし

臭い  
臭いのしきい(閾)値

pH  
融点・凝固点  
沸点、初留点及び沸騰範囲  
引火点  
蒸発速度  
燃焼性(固体、気体)

データなし  
-70°C(凝固点)  
130-230°C(沸点)  
21.0000°C (不明)  
データなし  
データなし

燃焼又は爆発範囲

下限  
上限

0.6vol%  
8.0vol%  
0.1-1.4kPa(20°C)

蒸気圧  
蒸気密度  
比重(密度)  
溶解度  
n-オクタノール／水分分配  
係数  
自然発火温度  
分解温度  
粘度(粘性率)  
動粘性率

0.63  
水に不溶  
データなし  
230-240  
データなし  
データなし  
データなし

10. 安定性及び反応性  
反応性  
化学的安定性

情報なし  
通常状態では安定である。

危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		情報なし
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
	経皮吸入	データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (呼吸器感作性)  データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性)
生殖細胞変異原性発がん性		データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分3(麻醉作用)の成分合計が20%のため、区分3(麻醉作用)に該当。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性		動粘性率が不明のため、分類できないに該当。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		(毒性乗率 × 10 × 区分1)+区分2の成分合計が80%のため、区分2に該当。
水生環境有害性(長期間)		(毒性乗率 × 10 × 区分1)+区分2の成分合計が80%のため、区分2に該当。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意  
国際規制

海上規制情報 IMOの規定に従う。  
UN No. 1950  
Proper Shipping Name エアゾール  
Class 2.1  
Packing Group -  
Marine Pollutant applicable  
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code. Not applicable

国内規制

航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。  
UN No. 1950  
Proper Shipping Name エアゾール  
Class 2.1  
Packing Group -  
陸上規制 非該当  
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。  
国連番号 1950  
品名 エアゾール  
クラス 2.1  
容器等級 -  
海洋汚染物質 該当  
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報 航空法の規定に従う。  
国連番号 1950  
品名 エアゾール  
クラス 2.1  
等級 -  
126

15. 適用法令  
労働安全衛生法

第3種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号)  
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)  
危険物・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

ミネラルスピリット(政令番号:380)(80%)  
ブタン(政令番号:482)(16%)

消防法  
大気汚染防止法  
海洋汚染防止法  
外国為替及び外国貿易法

第4類 引火性液体 第一石油類(非水溶性)  
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)  
油性混合物(施行規則第2条の2)  
輸出貿易管理令別表第1の16の項

船舶安全法  
航空法

高圧ガス(危規則第3条危険物告示別表第1)  
高圧ガス(施行規則第194条危険物告示別表第1)

港則法  
道路法

その他の危険物・高圧ガス(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)  
車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)

16. その他の情報  
参考文献

製造元メーカー提供資料  
NITE GHS分類結果一覧  
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)  
経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス  
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。  
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

その他